

教育心理学

単位数		ナンバリングコード	
2		DTP172	
	教員名	渡邊 仁	
	専門	教育学・教育心理学・学校心理学	
	出身校等	北海道大学	
	現職	北海道情報大学経営情報学部 講師	
授業形態			
前期印刷授業・後期印刷授業			
授業範囲		試験範囲	
教科書の内容全て・学習用プリントの内容全て		授業範囲すべて	
		【試験時参照許可物】 一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く）と生成系AIの参照は不可とする。	
科目の概要			
-幼児・児童・生徒の心身の発達の過程と特徴 -幼児・児童・生徒の学習の過程 -幼児・児童・生徒集団との関係性 教育には「○○の問題には、□□をすれば△△になる。」というような正解はない。なぜなら、目の前にいる幼児・児童・生徒の心身の発達や周りとの関係性等が相互に影響しているからである。しかし、本授業を通して、心理学分野の文献等から幼児・児童・生徒の心身の発達や関係性を理解することで、少なくとも不適切な対応をとってしまうことを防ぐことができる。また同時に、幼児・児童・生徒にとって効果的な学習環境も提供することができる。			
授業における学修の到達目標			
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程に関する基礎的な知識を身につけ、各発達段階において、心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。			
講義の方針・計画			
全15回の講義から構成されている。学習用プリントを参照し、各講義の授業課題に取り組むことが求められる。			
第1回：教育実践への活用			
第2回：発達のしくみ			
第3回：認知の発達			
第4回：人間関係と社会性			
第5回：クラス集団			
第6回：クラス集団と教師の関係性			
第7回：自己とパーソナリティ			
第8回：学校適応			
第9回：学校不適応			
第10回：学習			
第11回：記憶			
第12回：動機づけ			

講義の方針・計画
第13回：学習指導 第14回：教育評価 第15回：教育心理学に関する研究
準備学習
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
成績評価の方法およびその基準
科目試験による評価100%
教科書
書名：実践につながる教育心理学（改訂版） 著者名：黒田祐二（編著）・櫻井茂男（監修） 発行所：北樹出版 ISBN：978-4-7793-0654-9
参考書
なし
その他
なし
試験期間
シラバス検索画面トップページ（ https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/ ）下部の「2025学年暦」を参照
学習プリント
あり
教職科目
情報5の1（必修）、商業5の1（必修）、高校数学5の1（必修）、中学数学5の1（必修）
関連受講科目
なし
担当教員の実務経験
2004年から2021年まで、北海道の公立高校教員としての実務経験がある。また、定時制高校での勤務において、暴力行為・停学・不登校・中退・自傷行為・虐待事案等の様々な生徒指導上の問題への対応を行ってきた。さらに、高校教員として勤務しながら教育心理学分野の研究を行い、そこで得た知見を教育現場にフィードバックし、日々生徒と向き合っていた。授業ではこれらの経験を生かした実践的・理論的な授業になるように努めている。